

福祉サービス第三者評価 評価結果

第二白百合乳児保育園

横浜市神奈川区亀住町 1-4

運営主体：社会福祉法人 白百合会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類・項目別評価結果	5～13 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	14～21 ページ
利用者本人調査分析	22～24 ページ
事業者コメント	25 ページ

2009年2月4日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	第二白百合乳児保育園	
報告書作成日	2009年1月22日	評価に要した期間 4ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:08年9月8日～ 08年11月14日</p>	<p>08年9月に、ほぼ全職員が評価機関から第三者評価について説明を受ける。</p> <p>職員会議で再度趣旨を説明した。</p> <p>各職員個人で、自己評価票を記入した。</p> <p>各個人が記入したものを、全職員で1項目ずつ確認し合った(領域 &)。</p> <p>クラスリーダー会議で、協議確認し、職員会議で報告した(領域 ~)。</p> <p>主任とクラスリーダーでまとめ、園長が確認した。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:08年10月27日～ 08年11月9日</p>	<p>全園児の保護者(64家族)に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 08年11月26日 第2日 08年12月3日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前:各クラスで保育観察。</p> <p>昼食:幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。</p> <p>午後:書類調査。園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:各クラスで保育観察。</p> <p>昼食:幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。</p> <p>午後:各クラス担任保育士5名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。</p> <p>その後、園長・主任に面接調査。</p> <p>最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 08年11月26日 第2日 08年12月3日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施した。戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

第二白百合乳児保育園は、京浜急行「神奈川新町」駅から徒歩約2分、JR線との間の住宅地から少し離れた所にあり、広い公園に隣接し、隣地には別法人の保育園が建っています。園舎は鉄筋コンクリート2階建てで、1階には広いホールがあり、「社会福祉法人白百合会」が運営しています。

定員は60名（0～5歳児）で、平日の開園時間は7時～20時（0歳児は18時30分まで）、土曜日は7時～15時30分です。

「社会福祉法人白百合会」は、1971年（昭和46年）に設立され、翌1972年（昭和47年）横浜市初の認可乳児保育園「白百合乳児保育園」（0～2歳児）を開設しました。その後、1986年（昭和61年）幼児（3～5歳児）保育も開始し、2005年（平成17年）4月には、分園「あかいやね」を開設しました。2007年（平成19年）4月に、「あかいやね」が単独園として独立し、「第二白百合乳児保育園」となったのが当園です。現在、同法人は、上末吉白百合保育園（鶴見区）、丸山台保育園（港南区、市立より民間移管）も運営しています。

当園の保育理念として、「児童福祉法、児童憲章、子どもの権利条約を遵守する立場に立つ」などを掲げ、保育方針は「子どもたちが、心身ともに健やかに成長・発達できる保育内容、良好な環境を保障します」「保護者の方々も、安心して働き続けることができる保育環境を整えます」と定めています。これらの理念・方針のもと、保育目標として

丈夫で遊べる子ども　自分で表現し、工夫し、考える子ども　仲間と共感しあう心豊かな子どもの3つを掲げています。

高く評価できる点

1、子どもたちは、元気に遊び、園生活を楽しんでいきます

子どもたちが、自由に遊ぶ時間が十分に確保されています。朝の集まりの前には、園庭で幼児組の子どもたちが、砂場でシャベルやカップを使って遊んだり、フラフープをぐるぐる廻したり、うんていにぶら下がったり、鬼ごっこをしたり、それぞれの子どもが好きなことをして遊んでいます。花壇の花に水遣りをする子どももいます。乳児組は室内で、お人形さんごっこ、ブロック遊び、絵本読みなどを行っています。

朝の集まりの後には、各クラスの活動に入りますが、幼児組は週1回縦割り保育の日があり、年下の子どもは、年上の子どもや年下の子どもがやるのを見て応援するなど、異年齢児交流の場となっています。また、月1回の「お誕生会」には、0～5歳児の全員がホールに集まります。各クラスの歌などの出し物のほか、保育士のバイオリン・クラリネット・ピアノなどの合奏や、保育士手づくりの王冠やプレゼントで誕生月の子どもを祝います。さらに、誕生月の子どもは、ホールに飾られた花から、自分の好きな花を選んでクラスに持ち帰り、テーブルに飾ります。

また、園庭のプランターでは、稲・いも・かぼちゃ・トマトなどの栽培をし、収穫したものは調理室で調理してもらい、食材と料理の結びつきを子どもたちは学んでいます。さらに、月1～2回のクッキングの時間には、食材にじかに触れさせたり、保育士が毎日の給食のおかずの名称を伝えたり、デザートのお菓子を目の前で切り分けたりして、子どもたちが食への関心を持つようにしています。

2、保育士は、子どもたちのやりたい思いを尊重しています

保育士は、子どもの自主性を尊重し、「やらせるのではなく、興味・関心を持たせ、やりたい思いを引き出す気持ちを育てる」ことを大切にしています。

例えば、散歩で公園に行く時、「今日はどこの公園に行きたい?」と子どもたちに聞いたり、公園に着くと「何をして遊ぼうか?」と、やりたいことを子どもたちに尋ねたりしています。皆で一緒に遊んだ後は、一人ひとりの子どもが好きな遊びをするなど、一斉活動と自由遊びのバランスにも気を配っています。

また、クリスマス会の発表の時に使う楽器を、牛乳パックや空き箱などで制作している子どもたちは、ギター・コントラバス・タンバリン・笛・カスタネット・太鼓などを、それぞれの子どもが自分のアイディアで、何をどのように組み合わせるかを考えて取り組んでいます。保育士は、「ここに して」など、子どもから言われたことは援助していますが、上手くできなくて何回もトライしている子どもがいても、本人が納得するまでじっと見守っています。

子ども同士の言い合いやけんかについては、「どちらが悪い」と決めるのではなく、双方の思いを聞いて代弁してあげることで、子どもが自分で考えられるように方向付けをしています。また、もめごとをクラス全員に話して、子どもたちがみんなで考え、解決に向かうようにすることもあります。

保育士は、危険と思われること以外で、叱ったり大きな声を出したりすることはなく、子どもたちが自分の思いを表現できるように努めています。

3、保護者との連携が良く取られています

父母の会が結成されていて、総会や定例会には、園長・主任・職員代表も出席し、さまざまな意見交換をしています。また、父母の会独自で、保護者から園や保育に関する要望などのアンケートをとり、それにもとづいて園との話し合いを行っています。さらに、園長・主任以下、職員は、保護者が気軽に意見・要望を出したり相談を持ちかけたりできるような雰囲気作りに努めています。

また、園・父母の会が自治会と協力して、普段子どもたちが使っている園に隣接する公園の清掃を行ったり、園の行事である「夕涼み会」にも父母の会が協力するなど、“子どもたちのために”を合言葉に、園と父母の会・保護者との良好な関係が築かれています。

改善や工夫が望まれる点

1、職員の資質向上への取り組み

園では、職員の資質向上のため、人材育成計画を定め、園内研修を行い、正規職員は外部の研修へも参加しています。また、法人が運営する4保育園合同の勉強会などを開き、お互いの保育内容・工夫などを出し合って保育技術の向上にも努めています。さらに、年に1回、園長が職員と面談して、日常の保育を振り返る機会を設けています。しかし、具体的に個人別年度目標を設定したり、その達成度を評価したりするには至っていません。人材育成計画の中に経験年数に応じた期待水準が示されているので、これに向かって、職員一人ひとりの目標設定を行うことで、より効果的な取り組みとなることが期待されます。

また、非常勤職員には、園内研修や外部研修に参加する機会を設けておらず、資質向上への取り組みがやや不十分です。子どもたちと接する機会が多い非常勤職員にも研修を行うなどの工夫が望まれます。

2、マニュアル・書類などの見直し

「要望・苦情解決」「子どもの健康管理」「感染症への対応」「衛生管理」「安全管理」「個人情報保護」「ボランティア・実習生受け入れ」などのマニュアルは作成されていますが、「 (案)」となっていて正式に制定されたかどうか分からないもの、内容的に不十分なもの、定期的な見直しの記録がないものなどが見受けられます。内容を見直すとともに、定期的にチェックする体制をつくることが望まれます。

また、マニュアルを見直すことにより、どのような書類・記録などが必要であるかが分り、現在あるものの不備を修正したり、新たに作成したりすることで、より充実したものとなることが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1、人権の尊重

- ◇ 保育理念として、「児童福祉法、児童憲章、子どもの権利条約を遵守する立場に立つ」などを掲げていて、利用者本人を尊重したものとなっています。
- ◇ 法人として「個人情報保護方針」を定め、園内に掲示するとともに、入園時に保護者に説明し了解を得ています。子どもの写真の取り扱いについても、年度初めに保護者との確認を行っています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 園の屋内・外とも、清掃が行き届き、清潔に保たれています。また、各保育室に季節の花を飾り、子どもたちの感性を育てる環境づくりをしています。
- ◇ 保育目標は、「丈夫で遊べる子ども」「自分で表現し、工夫し、考える子ども」「仲間と共感しあう心豊かな子ども」の3つを掲げています。これらにもとづき、職員は、子どもたちの自主性を大切に、子どものやりたい思いを尊重して保育にあたっています。
- ◇ 子どもたちが、自由に遊ぶ時間が十分に確保されています。
- ◇ 子どもたちが、栽培した野菜などを調理してもらったり、クッキングの時間にはじかに食材に触れたり、保育士がデザートのお菓子を目の前で切り分けるのを見たりできるようにし、食への関心を持つようにしています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 年齢ごとに、年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。
- ◇ 特に配慮を要する子どもも受け入れ、保護者の了解を得て、地域療育センターと連携し、保育士と先方の担当者が相互に訪問し合い、保育の現場を見学しています。
- ◇ 要望・苦情解決、子どもの健康管理、感染症への対応、衛生管理、安全管理、個人情報保護、ボランティア・実習生受け入れなどのマニュアルを作成しています。しかし、内容的に不十分なもの、定期的な見直しの記録がないものなどが見受けられます。内容の見直しと、それに沿って記録・書類などを整備することが望まれます。
- ◇ 保護者との連携が良く取られています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 一時保育・交流保育・園庭開放・育児相談などを実施しています。
- ◇ 初釜（茶道）、運動会、夕涼み会などへ地域住民を招待し、近隣との友好な関係を築くための努力をしています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 法人の「保育実施要領」中に、倫理要綱を記載し、職員に伝えています。
- ◇ 父母の会と、園長・主任・クラスリーダー代表者との定期的な打ち合わせを行い、意見交換しています。
- ◇ 法人として、10年の長期計画、5年の中期計画を作成しています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 人材育成計画を定め、経験年数に応じた期待水準を明記しています。
- ◇ 園内研修や外部研修への参加、法人が運営する4保育園合同の勉強会への参加など、職員の資質向上に努めています。
- ◇ 職員一人ひとりの年度目標を設定し、達成度を評価することや、非常勤職員にも研修を行うことが望まれます。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある


評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念として、「児童福祉法、児童憲章、子どもの権利条約を遵守する立場に立つ」などを掲げていて、利用者本人を尊重したものとなっています。 ・ 保育方針は、「子どもたちが、心身ともに健やかに成長・発達できる保育内容、良好な環境を保障します」「保護者の方々も、安心して働き続けることができる保育環境を整えます」と定めています。 ・ 保育目標は、 丈夫で遊べる子ども 自分で表現し、工夫し、考える子ども 仲間と共感しあう心豊かな子ども の3つを掲げています。 ・ 「入園のしおり」に、各年齢の保育目標を「子どもの特徴的な姿」として記載しています。また、4月のクラス懇談会では、“1年間何を大事にしていくか(指導計画の内容)”を文書で示し、説明しています。さらに、「園だより」などで、行事のねらいなどを伝えています。 ・ 指導計画は、子どもの自主性や主体性を発揮できるように配慮しています。また、子どもたちの意見・要望を聞いて、週案、日案を変更するなど、柔軟に対応しています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園説明会を開き、担当予定保育士が保護者に面接しています。その際、親子で来てもらい、遊んでいる様子などを観察しています。 ・ 新入園児には、初日・2日目は、必ず親子で半日を園で過ごしてもらっています。その後の、ならし保育の期間は、子どもの様子により個々に判断しています。 ・ 年齢ごとに、年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。指導計画は、クラス担任が作成後、園長・主任ほか他クラスの保育士にも配布し、意見を聞いています。特に幼児組は、異年齢保育(縦割り保育)があるので、あらかじめ幼児部会議で確認しています。

<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の屋内・外とも、清掃が行き届き、清潔に保たれています。 ・各保育室およびホールは床暖房となっています。 ・各保育室に季節の花を飾り、子どもたちの感性を育てる環境づくりをしています。また、毎月の誕生会では、ホールに花を飾り、終了後は、誕生月の子どもが好きな花を選び、自分のクラスに持ち帰っています。 ・温水シャワーは、各トイレ、ベランダ、園庭に設置されています。 ・1階のホール、図書コーナーなど、異年齢児交流の場となっています。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・0~2歳児については、個別指導計画を作成しています。 ・幼児について、特別な課題がある子どもには、個別指導計画を作成しています。 ・子どもや家庭の個別の状況・要望などは、個人別の児童票・面接表に、子どもの成長発達の記録は保育経過記録に記載しています。 ・児童票・面接表・保育経過記録などは、個人別にファイルして保管し、必要に応じ全職員が見ることができます。 ・日常の保育にあたっては、事務室に連絡ノートを置き、申し送り事項などを記入して、全職員が共通認識を持つようにしています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもについては、個別のケースごとに、職員会議などで、他クラスの職員へも、子どもの様子・配慮事項などを伝えています。 ・保護者の同意を得て、横浜市東部地域療育センターと連携し、保育士と先方の担当者が相互に訪問し合い、保育の現場を見学するなど、“その子どもにとって何が大事か”の共通認識を持つようにしています。 ・障がい児保育について、外部研修などに参加した職員は、報告書をまとめ、全職員が見られるようにしています。 ・職員会議などで、全職員にアレルギー疾患に関する知識や情報を周知しています。また、職員の連絡ノートには、アレルギー疾患のある子どもの名前一覧表を貼り付け、注意を喚起しています。 ・代替食・除去食の場合は、お皿に子どもの名前をつけるなどの工夫をしています。また、献立表ができた時点で、クラス内の保育士同士で共通認識を持ち、誤食などが無いように努めています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望・苦情の受け付け責任者は主任であること、および第三者委員の名前を園内に掲示しています。 ・意見箱を玄関に設置しているほか、行事の後には必ずアンケートを取るなど、保護者の要望・意見を汲み取る仕組みができています。また、父母の会の会議に、園長・主任が出席し、要望・意見を聞いています。 ・要望・苦情に対応するため、苦情処理委員会規程を定めています。その中で、「利用者が第三者委員に直接要望などを申し出ることができる」と定めています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室内には押入れ下を空間として残したり、畳敷きのスペースを作ったりする工夫があり、さらに図書コーナーなどを設置して子どもが落ち着いて遊べる環境作りをしています。 ・ プログラムを最優先にすることなく、子どもが自分の好きなことを見つけて、遊び込むことを大切にしています。 ・ 一斉活動はみんなで一緒に何かをする楽しさと同時に「待つこと」「がまんすること」も覚え、その過程で友だちや保育士との信頼関係を育てています。 ・ 園庭のプランターでは、子どもたちが、稲、イモ、カボチャ、トマトなどの栽培をし、収穫した野菜は、調理室で調理してもらい食べることから、食材と料理の結びつきを学んでいます。 ・ 保育園の目の前にある公園を始めとして近所に多くの公園があり、園外活動で自然に触れられる恵まれた環境にあります。公園だけでなく近隣の店での買い物や、町内一周などとして、子どもたちは地域を知る体験をしています。 ・ 子どもたちは、フィンガーペインティング、泥んこ遊び、小麦粉粘土など、さまざまな素材に直接触れ五感を使って楽しむ中から、自分を表現する経験をしています。 ・ 子ども同士の言い合いやけんかについては、「どちらが悪い」と、保育士が決めるのではなく、双方の思いを聞いて代弁してあげることで、子どもが自分で考えられるように方向付けをしています。5歳児クラスの子どもには、もめごとをクラス全員に話し、子どもたちがみんなで考える時間を通して、解決に向かうようにしています。 ・ 子どもが本物の文化に触れて、豊かな感性が育つように、折に触れ、初釜（茶道）、獅子舞、楽器の生演奏（琴、津軽三味線、洋楽器）など、様々の催しを企画しています。 ・ 園庭に面したウッドデッキには押しボタンで開閉できる日除けテントを設置しています。夏には砂場にも日除けをすることで、紫外線対策を行っています。 ・ 異年齢児交流の一環としての遊びに「お店屋さんごっこ」というイベントをしています。5歳児がお店屋さん、年下の子どもがお客さんになり、お金もお店も手作りで準備をし、子どもたちは期待や緊張と共に異年齢の交流を楽しんでいます。 ・ 外部講師が月2回来園し、3～5歳児に（3学期より2歳児にも）体育指導をしています。

- 1 保育内容[生活]



- ・ 食事の時間は、何時までに食べ終わるようにと食べ始めに決めることはなく、子どもたちがみんなで楽しく食事ができることを大切に考えています。
- ・ すべての食材を自然食品に限定すると、食材が揃わない恐れもあり、国産の食材、もしくは海外の提携農家と契約している業者からの食材と組み合わせて、安心安全な給食を提供しています。おやつについても食事と同様に手作りで、安全でおいしいものを工夫しています。
- ・ 月1~2回のクッキングの時間を設け、子どもたちが食材にじかに触れる機会をつくったり、子どもたちに給食のおかずの名称を伝えたり、保育室内で、保育士が子どもの目の前でデザートや果物を切り分けたりして、子どもたちが食への関心を持つようにしています。
- ・ 毎月行われる調理室会議では、食材の切り方や盛り付けに至るまで話し合い、翌月の献立に活かしています。
- ・ 離乳食試食会、給食試食会を年に1回ずつ開き、作り方・食べ方など園で配慮していることを、保護者に伝えています。
- ・ 安心して眠りにつけるように、午睡中も保育士が子どものそばに付き、歌を歌ったり、トントンをしたりしています。
- ・ 乳児は布製の貸おむつを使用しています。布製は、子どもがお尻の濡れた不快感を知るメリットがあり、保育士にとっても、紙製のものよりもおむつ替えの回数が増えることで、子どもの体調や排泄のリズムを知り、さらに、肌に触れたり声かけをしたりすることで、子どもとの信頼関係がより深く構築されると考えています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・ 子どもに普段と違う様子がないか、目で見た感じと、抱き上げた時の感触により“気づく”ことを、保育士の重要な資質の1つと考え実践しています。園での子どもの健康状態は、連絡帳や、口頭で保護者に伝えられ必要に応じた対応をしています。
- ・ 年2回の健康診断、年1回の歯科健康診断、月1回の身長・体重測定(1歳になるまでは原則として月2回)が行われ、個別の健康ノートに、生育歴と、健診結果を記録しています。
- ・ 感染症などへの対応マニュアルを作成し、保護者へは「入園のしおり」で知らせるだけでなく、毎月の「ほけんだより」で、その時期に心配される感染症の記事を載せて注意を促しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・ 衛生管理に関する具体的な取り組みは種々行われています。地域の方たち(高齢者)を、保育の補助とともに園内の片付けや清掃の目的で数名、非常勤職員として採用しています。さらに保育士も室内の清掃を分担し、園内は清潔に保たれています。
- ・ 衛生管理に関するマニュアルを作成していますが、定期的な見直しが行われるまでには至っていません。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- ・ 月1回の避難訓練と消火訓練、年1回の防犯訓練を行っています。
- ・ 医療機関の一覧表、緊急通報の仕方などを掲示し連絡体制ができています。周囲に民家がないため、近隣の交番に見回りを依頼したり、隣の駐輪場事務所に気を付けてもらう依頼をしたりしています。
- ・ 民間の警備会社と契約し、防犯体制を整えています。
- ・ 子どものケガについては、小さなものであっても保護者に報告し、記録しています。また事故やケガの発生時に役立つよう、子どもの健康ノートには主治医名を記入してもらっています。

- 3 人権の尊重





- ・ 保育士が子どもをせかしたり強制することはなく、優しくわかりやすい言葉で保育にあたっています。ケガや事故になりそうで危険と思われる場合は、その時すぐに、しっかり子どもと向き合い注意をしています。
- ・ 比較的広い園舎であり、必要に応じて子どものプライバシーを守る場所があります。また幼児のトイレには扉をつけています。
- ・ 個人情報の取り扱いについては、入園時に保護者に説明し了解を得ています。保護者間の連絡網はありますが1年ごとに廃棄、更新する決まりを作っています。子どもの写真の取り扱いについても、年度初めに保護者との確認を行っています。
- ・ 昨年、当園の主任保育士は、全国保育士会に「保護者支援を深める目に見えない虐待のひろがりと保育士の意識」という論文を発表し、大きな評価を得ました。こうした見識を持つ主任のもとで、虐待についての意識は全職員共有のものになっています。
- ・ 遊びの役割、服装などで性別による区別はしていません。

- 4 保護者との交流・連携






- ・ 行事後にアンケートなどを実施し、それを通じて、保護者が保育方針を理解しているかどうかを把握しています。
- ・ 保護者、保育士とも、連絡帳に日々子どもの様子を記載し、情報交換ができています。
- ・ 保護者からの相談は、相談室もありますが、日頃から気楽に話ができるような関係作りを目指し、立ち話し程度でもいつでも受け入れられるように努めています。
- ・ 毎月「園だより」「ほけんだより」「ハッピーだより(誕生会)」を、年に数回「おいしいわ(給食だより)」を発行しています。さらに日常の保育や行事の様子は、随時「クラスだより」で紹介しています。
- ・ 年間の行事予定はあらかじめ知らせ、保護者が予定を立てやすくしています。
- ・ 父母の会の定例打ち合わせ会には、園長、主任、職員代表が出席し、保護者組織とのコミュニケーションができています。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭開放・交流保育・育児相談や給食試食会などの地域への取り組みの中で、保育園への意見や要望を汲み取るようにしています。 ・ 一時保育、交流保育、園庭開放などの子育て支援サービスを行っています。交流保育では、「伝承遊びの会」「遊ぼう会」を開催しています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭開放や各種行事のお知らせは、園の掲示板や、保護者の住むマンションの掲示板などに掲示しています。 ・ 育児相談は日を限定せず、随時受け付けています。 ・ 横浜市東部地域療育センター、神奈川区福祉保健センター、横浜市中央児童相談所との連携ができています。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初釜（茶道）、運動会、夕涼み会などへの参加を町内に呼びかけたり、老人会を招待したりして、近隣との友好な関係を築くための努力をしています。 ・ 本園（白百合乳児保育園）の園児たちとの交流があり、幼保小教育連携事業へも参加しています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス内容、料金、職員体制などの情報は、園のパンフレットやホームページに記載しています。 ・ 見学は随時受け付けるとともに、見学者との面談の中で子育ての悩みや質問にも答えています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアとして、保護者や元職員、卒園児などが来園し楽器演奏や伝承遊びを園児に見せる活動をしています。 ・ 学生にとって充実した実習になるようなプログラムを作成し、実際にクラスに入って、保育士としての“子どもを見る目”を養う実習を行っています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成計画を作成しています。 ・ 年に1回、園長が職員と面談して、振り返る機会を設けていますが、具体的に資質向上に向けた個人目標を設定し、その達成度を評価するには至っていません。 ・ 市・区主催の研修会、保育士会のセミナーなど、外部研修へ参加しています。 ・ 外部研修へ参加した職員は、職員会議などで報告するほか、報告書をまとめた研修報告集を年1回作成し、保護者にも配布しています。 ・ 非常勤職員が、園内研修や外部研修に参加しておらず、資質向上への取り組みを検討することが望まれます。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人が運営する4園合同の勉強会を行い、お互いの保育内容・工夫などを出し合っており、より良いサービスとなるようにしています。特に、平成21年4月からの新しい「保育所保育指針」に沿って、どのように対応するかを重点課題にしています。 ・ 体育指導の講師が月2回来園し、3～5歳児（3学期より2歳児も）の指導を行っており、保育士も日常活動の中で活かせるように学んでいます。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成計画の中に、経験年数に応じた期待水準が明文化されています。 ・ 職員の任務分担、係分担を定め、できるだけ権限を委譲しています。 ・ 年1回の園長と職員との面談時に、満足度・要望などを把握しています。 ・ 職員から産休や育児休業の申し出があった場合に、代換え要員を確保するなど、働きやすい職場となるようにしていることも職員のモチベーションを維持する要因のひとつになっています。法人として、平成20年度「よこはまグッドバランス賞」（働きやすく子育てしやすい企業を認定・表彰する横浜市の事業）の認定を受けました。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人の「保育実施要領」中に、倫理要綱を記載し、職員に周知しています。 ・ 運営状況などの情報を、ホームページで伝えています。 ・ 牛乳パック、ペットボトル、空き箱などを、子どもたちが製作に使う素材として活用し、ゴミ減量化の一環としています。 ・ 環境への考え方や取り組みを、運営方針などに明文化するには至っていません。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念・基本方針を園内に掲示するほか、職員には文書で配布しています。 ・ 園長と職員との面談時に、理念・基本方針などの理解を確認しています。 ・ 父母の会と、園長・主任・クラスリーダー代表との定期的な打ち合わせを行い、意見交換しています。 ・ 分園から独立園になるに際し、保護者や職員に、目的・経過説明などを十分に行っています。 ・ 経験年数の多い保育士を、市・区のリーダー研修、主任研修などに参加させ、育成を行っています。 ・ 主任は、できるだけ保育の現場に入って業務の様子を把握しているほか、日々の各クラスの保育日誌を読み、感想や助言を記入しています。また、各クラスの保護者との懇談会に参加し、クラスの雰囲気や保護者の様子を把握し、保育士に適切なアドバイスや指導をしています。 ・ 主任は、昨年、全国保育士会に研究論文を発表しました。また、研究発表・論文や永年の保育に係わる貢献に対し、平成 20 年度の「神奈川県保育賞」を受賞し、職員の模範となっています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営に影響のある情報は、区園長会、私立保育園園長会、市社協福祉部会などから得ています。 ・ 人材育成と人材補充、新「保育所保育指針」への対応を重点課題として取り組んでいます。 ・ 法人として、10年の長期計画、5年の中期計画を作成しています。 ・ 理事として、学識経験者、弁護士、地区社協会長などがおり、運営に関し意見交換しています。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2008年10月27日～11月9日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 71.9%（64枚配付、46枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...6人、1歳児クラス...5人、2歳児クラス...8人、3歳児クラス...12人、
4歳児クラス...5人、5歳児クラス...10人

ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

設問ごとの特徴

【問1】保育園の基本理念や基本方針について

「保育園の保育目標や保育方針」について、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者は87%です。さらに、「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者のうち98%が、「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。

“子どもの自主性を尊重している”“園児一人ひとりを大切にしてくれている”という声があります。

【問2】入園時の状況について

「園の目標や方針の説明」「子どもの様子や生育歴を聞く対応」「1日の過ごし方の説明」は、満足度(*)95%以上です。“親切に対応してもらえた”“個人面接の時間が少し短い(入園後ゆっくり話す機会はあったが)”“分園から本園になったときの説明など、もう少し詳しく聞きたかった”という声があります。

「見学の受け入れ」「入園前の見学や説明など、園からの情報提供」は、“兄が入園していたので見学しなかった”などの理由で「その他」回答が多くなっています。

(*)満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」の回答を合わせた数値(以下同様)

【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事の説明」は満足度が90%以上、「保護者の要望が活かされているか」は満足度83%となっています。“いろいろな季節の行事があって良い”“保護者の都合を考えてくれている”という声がある一方で、“行事の数が多い”“保育協力日を少なくしてほしい”などの声もあります。

【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」の項目では、すべての設問で約95%以上の満足度です。特に「戶外遊びを十分しているか」「園外活動」「健康づくりへの取り組み」の3項目は100%の満足度です。“散歩などが十分にあり、体力がついてきた”“地域の人々や自然とのふれあいがあって良い”などの声があります。

「生活」の項目では、「給食の献立内容」は100%の満足度です。“好き嫌いなく食べられるようになった”“手作りおやつなど、心がこもっている”“食育は最高”などの声があります。

「子どもが給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣の自立への取り組み」「子どもの体調への気配り」は、95%以上の満足度です。

「ケガに関する保護者への説明やその後の対応」は、満足度83%です。“ちょっとしたケガでも丁寧に説明してくれる”という声がある一方で、“小さなケガでも詳しく説明してほしい”との声もあります。

【問5】快適さや安全対策などについて

「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気」は100%、「施設設備」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」は90%以上の満足度です。「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」は、83%の満足度です。“朝夕

の送迎時に、手動の門扉から誰でも入れるので不安”などの声があります。

【問6】園と保護者との連携・交流について

「園だよりや掲示による情報提供」は100%、「保護者懇談会や個別面談による話し合いの機会」は約90%の満足度です。“保育参加ができて良い”“園 保護者だけでなく、保護者 保護者の交流・連携も大事であることを園が教えてくれた”などの声があります。

「行事の開催日や時間帯への配慮」「子どもの重要な情報の連絡体制」「保護者からの相談事への対応」は、85%以上の満足度です。“懇談会の時間の設定を遅くして欲しかった”などの声があります。

「送り迎えの際の子どもの様子に関する情報交換」は、74%の満足度です。“日中の子どもの様子を聞くチャンスが少ない”“迎えの際に、何も問題がなくても一言声をかけてくれると良いが”などの声があります。0～5歳児の全園児に、園からは連絡帳により子どもの様子を伝えています。さらに口頭で直接伝えてくれることや、何も特別なことがないときでも一言声をかけてくれることを、保護者は望んでいる様子です。

【問7】職員の対応について

「子どもが大切にされているか」「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」「話しやすい雰囲気、態度であるか」は、95%以上の満足度です。“どの先生も自分が担任であるかのように子どもに接してくれている”“子どもたちを大切にしてくれる”などの声があります。

「意見や要望への対応」は、85%の満足度です。「アレルギーや障がいのある子どもへの対応」は、“当事者でないので分らない”など、「その他」回答が多くなっています。

【問8】保育園を総合的に評価すると

満足度は100%です。

【問9】園への要望など

園や職員に対する感謝の声が多くあります。“親子ともども満足している”“今の園の方針を続けて欲しい”などの声があります。

まとめ

◇ 特に満足度が高いのは、

日常の保育内容の「戸外遊びを十分しているか」「園外活動」「健康づくりへの取り組み」「給食の献立内容」

快適さや安全対策の「子どもが落ち着いて過ごせる雰囲気」

園と保護者との交流・連携の「園だよりや掲示による情報提供」

の6項目で、いずれも100%の満足度です。

子どもたちが、落ち着いて園生活を楽しんでいることに、保護者は満足していることがうかがわれます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

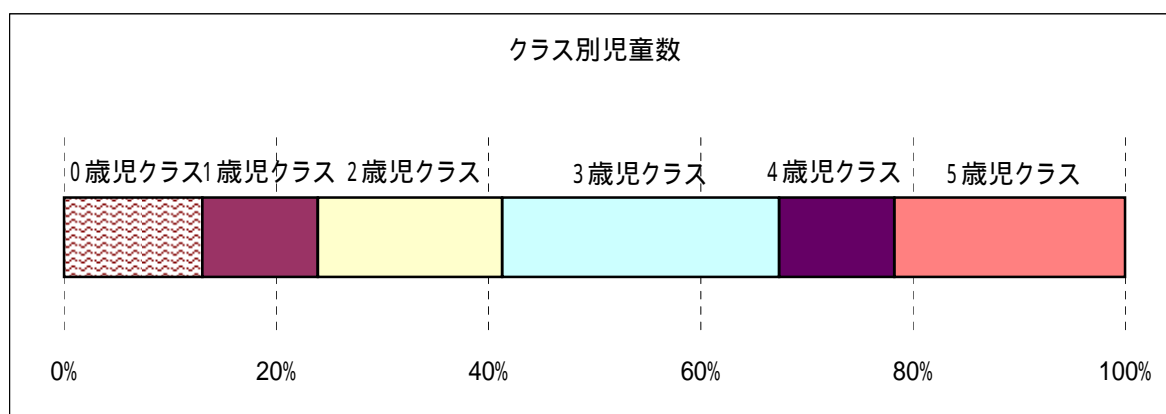
実施期間： 2008年 10月27日～11月9日

回収率： 71.9%（回収46枚／配布64枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
46	6	5	8	12	5	10	0

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもで記入



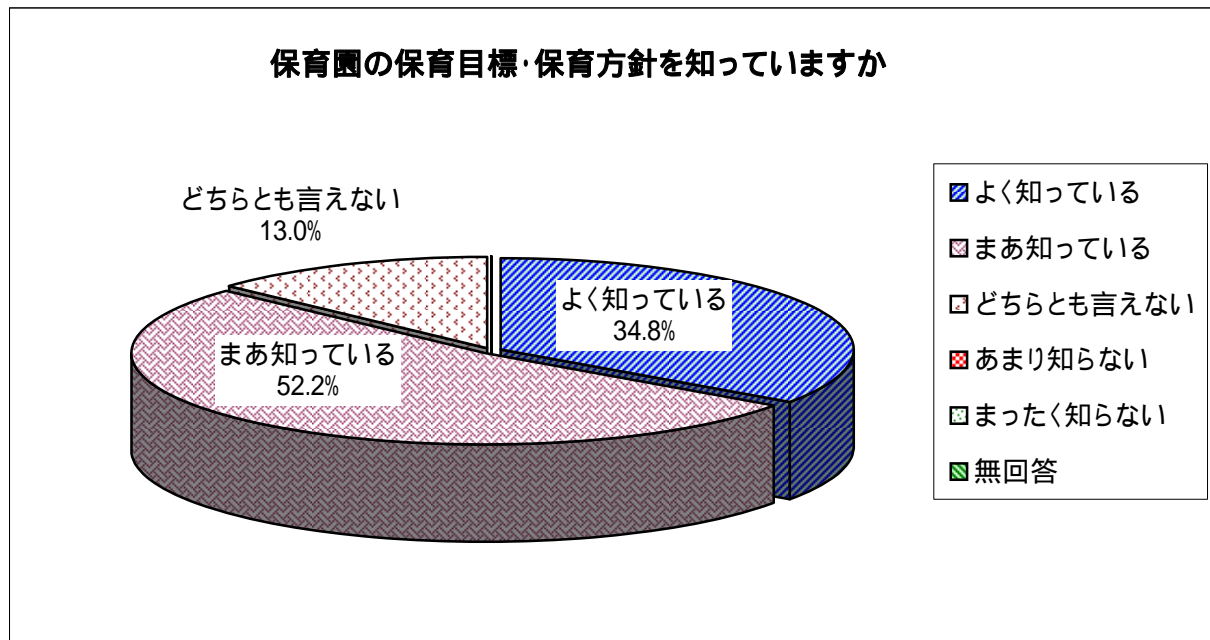
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	34.8	52.2	13.0	0.0	0.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

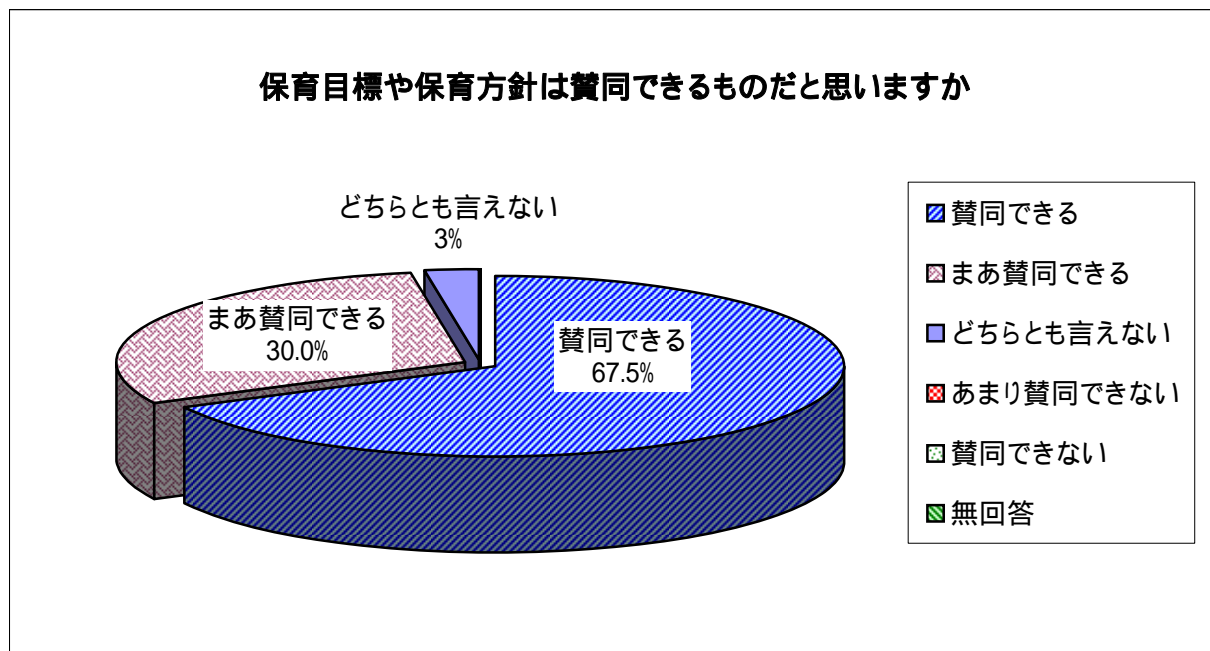


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	67.5	30.0	2.5	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

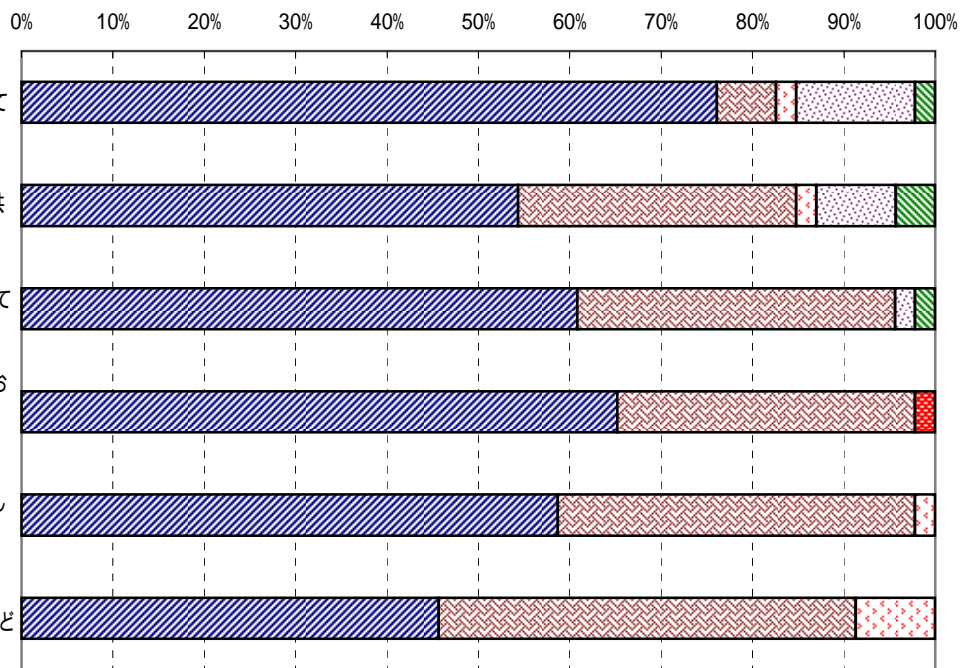
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	76.1	6.5	2.2	0.0	13.0	2.2	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	54.3	30.4	2.2	0.0	8.7	4.3	100
園の目標や方針についての説明には	60.9	34.8	0.0	0.0	2.2	2.2	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	65.2	32.6	0.0	2.2	0.0	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	58.7	39.1	2.2	0.0	0.0	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	45.7	45.7	8.7	0.0	0.0	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



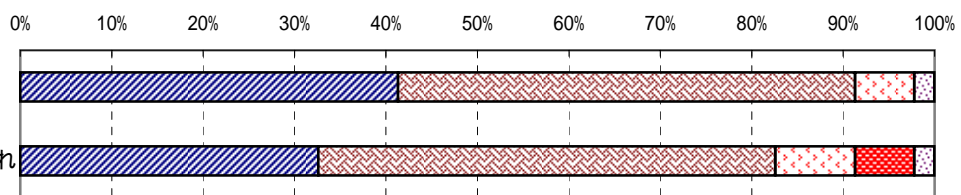
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	41.3	50.0	6.5	0.0	2.2	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	32.6	50.0	8.7	6.5	2.2	0.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問4 日常の保育内容について

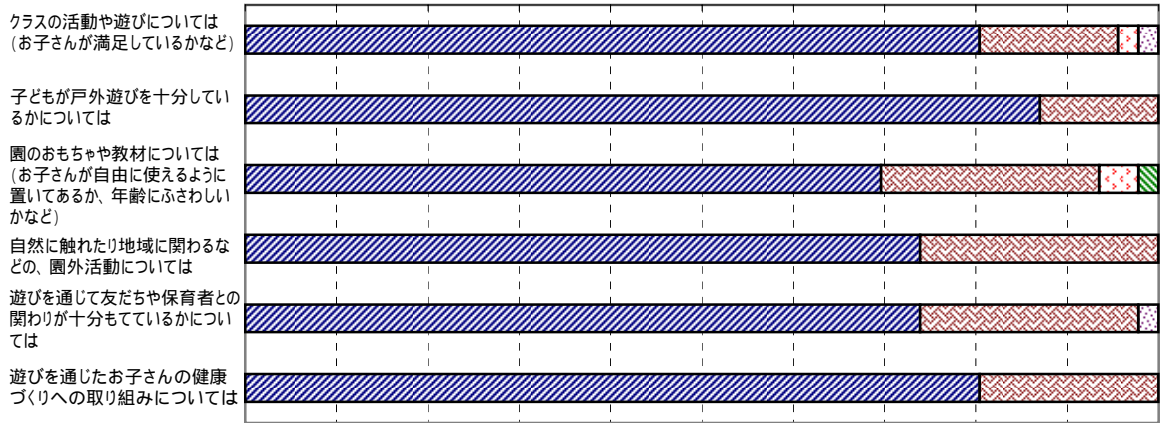
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	80.4	15.2	2.2	0.0	2.2	0.0	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	87.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	69.6	23.9	4.3	0.0	0.0	2.2	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	73.9	26.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	73.9	23.9	0.0	0.0	2.2	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	80.4	19.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



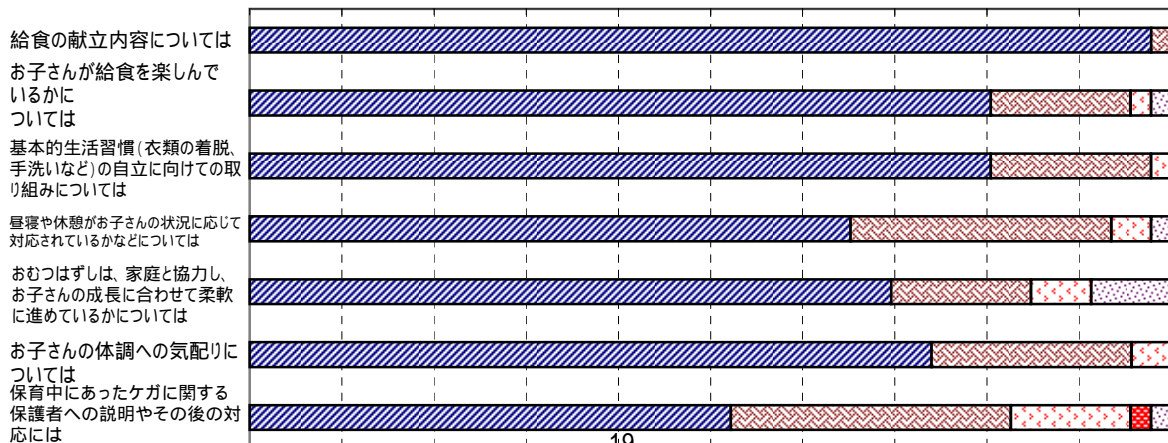
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	97.8	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	80.4	15.2	2.2	0.0	2.2	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	80.4	17.4	2.2	0.0	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	65.2	28.3	4.3	0.0	2.2	0.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	69.6	15.2	6.5	0.0	8.7	0.0	100
お子さんの体調への気配りについては	73.9	21.7	4.3	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	52.2	30.4	13.0	2.2	2.2	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



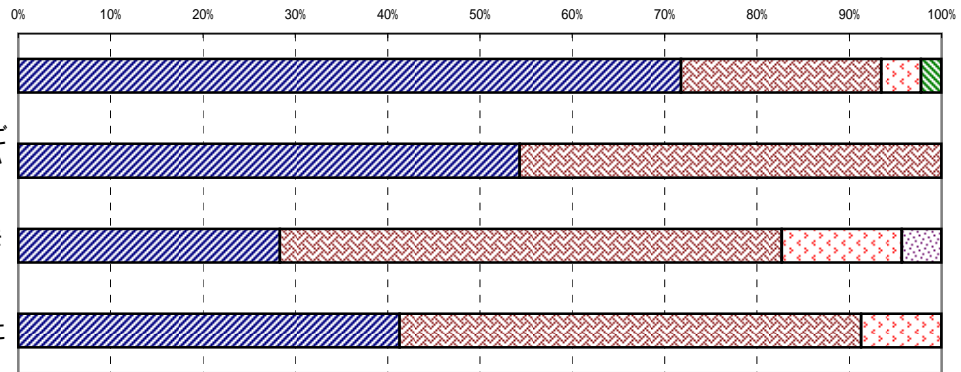
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	71.7	21.7	4.3	0.0	0.0	2.2	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	54.3	45.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	28.3	54.3	13.0	0.0	4.3	0.0	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	41.3	50.0	8.7	0.0	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



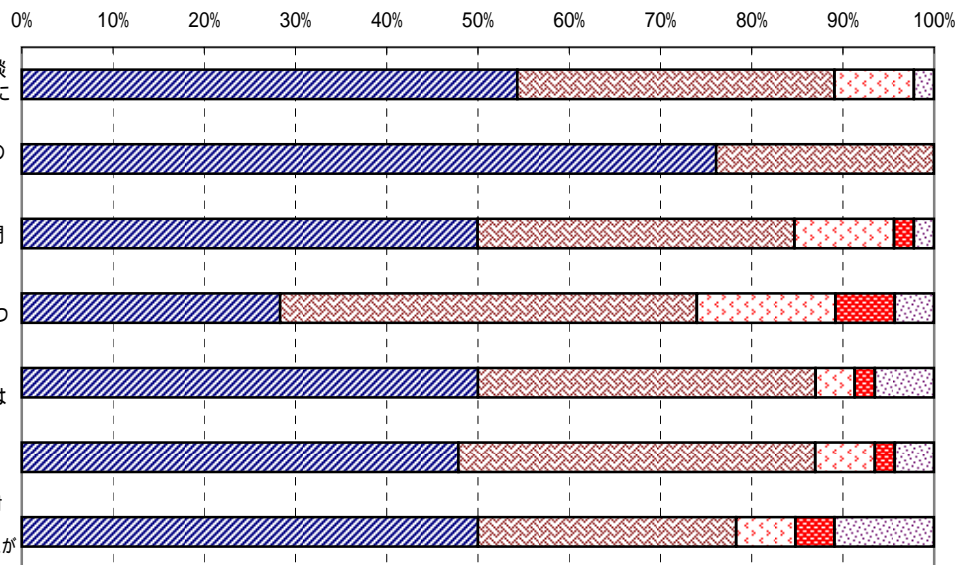
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	54.3	34.8	8.7	0.0	2.2	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	76.1	23.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0	34.8	10.9	2.2	2.2	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	28.3	45.7	15.2	6.5	4.3	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	50.0	37.0	4.3	2.2	6.5	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	47.8	39.1	6.5	2.2	4.3	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	50.0	28.3	6.5	4.3	10.9	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

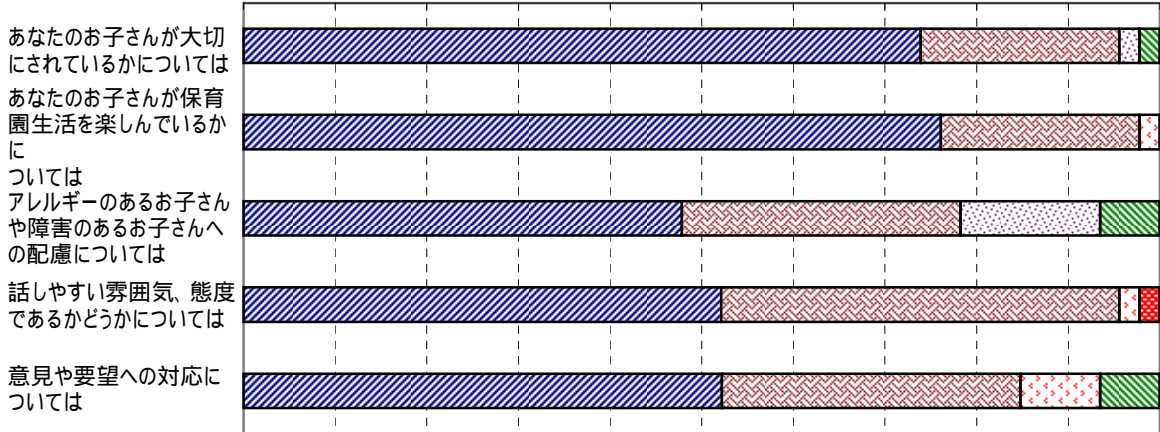
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	73.9	21.7	0.0	0.0	2.2	2.2	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	76.1	21.7	2.2	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	47.8	30.4	0.0	0.0	15.2	6.5	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	52.2	43.5	2.2	2.2	0.0	0.0	100
意見や要望への対応については	52.2	32.6	8.7	0.0	0.0	6.5	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



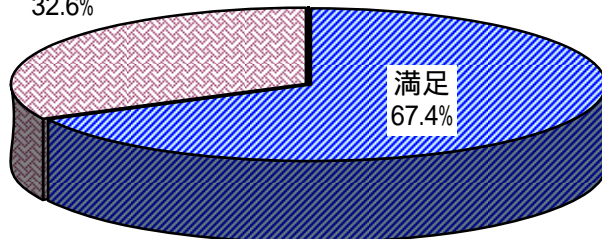
問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	67.4	32.6	0.0	0.0	0.0	100

総合満足度

どちらかといえば満足
32.6%



■満足
■どちらかといえば満足
■どちらかといえば不満
■不満
■無回答

利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 11月26日（水）9：00～18：00 12月3日（水）9：00～18：00

午前中の時間帯を中心に、断続的に実施しました。

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

誕生会

訪問日の1日目は、誕生会の日でした。1階のホールに0歳児から5歳児まで園児全員が集まります。0歳児の保育室は2階ですが、階段は段の高さを低く幅を広くしてあり、皆、後ろ向きになってズリズリとしながら上手に階段を下りていきました。ホールでは、0歳児は好きに動いたり保育士に抱いてもらったりし、他の子どもたちは椅子に座って待っています。

進行役の保育士が、11月生まれの子ども3人の名前を呼び、呼ばれた子どもたちはみんなの前に並びます。一人ずつ紙で作ったピカピカの王冠をかぶせてもらっています。それぞれが保育士からインタビューを受けたり、プレゼントをもらったりしました。保育園全員のお友だちが「お誕生日の歌」を歌い、今月の3人の主役は席に戻ります。これから、クラスごとの歌とダンスの発表です。各クラスで練習をしてきました。小さい組の発表ではお兄さんお姉さんたちが、「ちゃん」「ちゃん」と口々に言って、小さいお友だちをととても大事にしている様子です。

次に5人の保育士たちから、演奏のプレゼントがありました。この日は特別に、プロのミュージシャンが参加しました。園児の父親で、コントラバスの演奏家です。ピアノ、クラリネット、トランペット、フリューゲルホルン、バイオリン、そしてコントラバス、本物の楽器がとてもきれいです。子どもたちの中から、声が聞こえました。「ディズニーランドみたいだね！」

演奏に入る前に、木管楽器と金管楽器の違い、コントラバスとバイオリンの音の高さの違い、などを楽器の音を出しながらきちんと話して聞かせます。難しい名前が出てくる話しでも、みんな興味を持ってよく聞いていました。何曲もの演奏の中に、子どもたちの知っている曲もたくさん入っています。大好きな「ポニョ」が始まると大合唱でした。

お昼の時間の早い0・1歳児クラスから、順に保育室に戻りましたが、5歳児クラスはホールに残って、みんなで大きなコントラバスに触らせてもらったり、音を出させてもらったりして十分に音楽を楽しみました。

0歳児クラス

今年度まで、6ヶ月児からの受け入れだったため、0歳児クラスとは言っても、ほとんどの子どもは1歳になっています。テーブルに向かって着席し、朝のおやつまでの時間、保育士が「まつぼっくり」の歌を歌いながら手遊びをしています。ほとんどの子どもが、それぞれのペースで、保育士の手の動きについていきます。

保育士が、一人ずつ名前を呼んで手拭きタオルを渡します。「ちゃん」と、名前を呼ばれると「はーい」と手をあげてタオルを受け取り、保育士に手や顔を拭いてもらっています。

おやつも昼食も、みんな一生懸命食べます。子どもたちは全員が乳児食です。スプーンに食べ物を乗せてもらおうと上手にスプーンを使って食べられるのですが、待ち切れずに、手とスプーンの両方で食べている子どももいます。

おやつの時も昼食の時も、食べ終わると、保育室奥の手洗い場に行って自分で手を洗おうとします。牛乳パックの空き箱で作った踏み台に乗っても、水栓に手が届かなかったり、蛇口が回せなかつたりするのですが、みんなが「やろう」としています。保育士も子どもの気持ちを尊重して、洗ってあげるのではなく子どもが自分で洗った気持ちになれるような手助けをしています。

1 歳児クラス

0歳児と一緒に保育室を、低い衝立で仕切った部屋で、テーブルに向かって着席しています。隣の0歳児クラスと同じような流れで、朝のおやつを待つ間、歌と手遊びをしています。自分の気持ちを表現することが言葉や行動に出始める年齢になっています。ぐずったり、隣に座ったお友だちとけんかしたりもしています。お友だちにちょっかいを出されて泣き出す子に、保育士は「　　ちゃんに、いやよって言いなさい」と言い、子どもは大きな声で「いやよ」と言います。くっついた椅子を少し離してもらい、いつのまにかおさまっていました。椅子に座りたくなくて、壁にぺたんくくっついて立っている子を、保育士は見守りながら、しばらく好きなようにさせて、時々抱いて話しかけたりしています。おやつが出る頃には着席していました。

おやつの前に一人ずつタオルをもらい、自分で手や顔を拭いています。保育士が、今日これからの話をします。「おやつを食べて、おむつを替えて、ホールにお誕生会に行きます。ハッピーするよ。」

布製のおむつを使うので、とてもまめにおむつを替えてもらっています。保育室内におむつ専用の保温器(炊飯器で代用)があり、中には新しい布おむつを濡らして絞ったものが入っています。汚れたお尻を、この温かな布できれいにしてもらっています。この優しい配慮で、おむつかぶれをする子どもはいません。

2 歳児クラス

朝の陽射しがたっぷり入る明るい保育室で、子どもたちはブロック遊びやお人形さんごっこ、保育士と手遊びなどをして自由に過ごしています。「お庭に行くからおトイレに行ってきた」との担任の声に、ほとんどの子どもは自分でトイレに行けます。上着を一人で着る子も、保育士のところに「着させて」と行く子もいます。靴は上手に自分ではけました。

園庭では、三輪車に乗ったり、砂場でカップやシャベルを使って砂遊びをしたりしています。三輪車で転んでも、お友だち同士で言い合いをしても、泣く子はいませんでした。砂だらけになって、元気いっぱい遊んでいます。

お昼の時間、子どもたちは食欲旺盛です。きれいに食べ終えた子どもは、保育士に「ほら、見て」と、お皿が空になったことを伝え、保育士は「すごい!ぴっかぴかだよ。みんなも頑張ろう」と、ほめています。お代りをする子どももたくさんいます。

3 歳児クラス

園庭での外遊びから保育室に戻るため、庭のウッドデッキにたらいを出して足を洗っていました。保育士に一人ずつ、洗った足を拭いてもらい、部屋に入ります。

これからお誕生会があるので、そこで発表する歌やお誕生日の歌の練習がありました。クラスの中にも、今月お誕生日のお友だちがいます。

絵本の読み聞かせの時間、静かにお話を聞くことに集中できない子どもがいても、保育士がすぐに叱るようなことはありません。1度絵本を読むことを止めて、子どもたち全員に「みんなどうしたい?」と、問いかけます。ほとんどの子どもが「聞きたい」と返事をするので、騒いでいた子どもたちは、自ら自分たちの行動に気付いてみんなの輪に入り、静かにお話を聞いています。

昼食は4つのテーブルに分かれ、「いただきます」のご挨拶をしてから始まります。保育士はそれぞれのテーブルを回って、今日の献立の説明をしています。時間にせかされることなく、おしゃべりを楽しみながら食べています。

4 歳児クラス

絵本の読み聞かせから、本に出てくる花の名前、虫の名前へと子どもの興味を誘い、折り紙の「みの虫」作りへとプログラムが続きます。折り紙の準備をしながらも、「折り紙ができたなら公園に行くよ。今日はどこの

公園に行きたい?」「公園にみの虫いるかな」と、次々と、話を引っ張っていきます。折り紙は、きちんと三角に折るところから始まって、クレヨンで「みの虫」の顔を描いて出来上がりです。一人ずつ、名前を書いてもらい「糸をつけて、吊るそうね」と話しながら終わりました。

線路の向こうの第3公園まで散歩に行きます。「公園に行ったら何する?」などと、話しながら歩きます。散歩道は人通りもほとんどなく、自動車が来る心配のないところは、保育士とダッシュで行きました。子どもたちは足も速く、保育士の後ろをみんなかけっこでついていきました。公園に着いてみんなで一緒に遊ぶ遊びを決めるのも子どもたちです。鬼ごっこをしばらくしたあとは、滑り台やブランコで遊ぶ子、ハトやカラスを追いかける子、きれいな落ち葉を集める子、みの虫を探す子、かくれんぼをする子など、元気いっぱいの子もたちです。

保育園への帰りは行きとは違う道で、線路を渡る道でした。踏切の中の線路には歩道に白い線が引いてあります。この線を外れて歩いた子どもには、踏切を渡り切ってすぐに、保育士が「白い線の中を歩かないとあぶない」と、危険なことにはしっかりと注意をします。

5 歳児クラス

朝の時間、園庭での遊びを終えて保育室内に入り、12月の誕生会で発表する演目の準備をしました。昨日からの続きで、歌を歌う時に持つ楽器を作っています。材料の牛乳パック、ペットボトル、ティッシュの箱、ラップの芯、空き箱などが段ボール箱にたくさん入っています。作っている楽器は、ギター、コントラバス、タンバリン、笛、カスタネット、太鼓などです。子どもたちは材料を工夫して形にし、色を塗ったり色紙を切って貼りつけたりして製作を楽しんでいます。保育士は子どもから「 をして」と、言われたことを援助します。ギターの絃にする輪ゴムを通す穴を開けてあげたり、作ったマイクを、スタンドマイクにしてあげたりしています。

出来上がった楽器を持って、歌を歌います。誕生会の準備ができました。

食事の時間、5歳児クラスはお当番のグループが、配膳だけでなく盛り付けもします。クラス全員分のおかずや汁を盛り付けます。少し時間がかかっても一生懸命取り組んで、終わったときは、ちょっと誇らしげな顔に見えました。

まとめ

保育士は皆、危険と思われること以外で、叱ったり大きな声を出したりすることはなく、子どもが自分の気持ちを表現できるように導いています。子どもたちは、表現することを喜び、この保育園での生活を安心した笑顔で過ごしています。

事業者コメント

第二白百合乳児保育園

“独立して2年目、ただ夢中でやってきただけ”という思いが強く、あるがままを見てもらい、評価を受けて“見直すべき点や改善点を見つけてもらおう”という思いで受審しました。

自己評価をしていく中で、実際に不十分なところ、あいまいな所も多く、一部の職員しか知らないこともあることに気付くなど、2年目で振りかえられたことは良い機会となり、改めて基盤作りをしっかりとっていきたいと思いました。また、一方で、「人材育成も、子どもを預ける保護者の安心も、“職員が元気で働き続けられる環境があってこそ生まれるもの”」との視点から、職員の労働条件や健康維持に関する項目があっても良いのではと思いました。

日々の仕事に追われる中、話し合いの時間を確保していく大変さがありましたが、その時間があっただけで自分たちを振り返ることができ、お互いを知り、子どもと保護者のこと、園のことなど様々なことに対して意識が深められ、職員の団結力が強くなったように思います。

利用者アンケートの結果については“満足度100%”という評価をいただき、予想以上なのでとても嬉しく、日頃の保育に対しての姿勢や保護者とのつながり合いがこの結果に結びついたのだと思います。

これからもこの結果を励みにし、保護者とも共有し、法人の基本理念をめざし発展させていきたいと思っています。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るすることができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
